

阿蘇家保だより

平成27年6月号

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



ハエが増える時期です！大量発生で弊害も・・・

ハエの発生は、気温が上昇する4～5月よりみられ、6月～7月が発生
のピークとなります。ハエの産卵個数は50～150個で、卵は8～
15日でふ化します。ハエが大量発生すると、家畜へのストレス・病原
体の媒介・近隣からの苦情など深刻な弊害を生じます。

病原体の 媒介

農場内や、農場が密集した地域ではハエが農場間を移
動し、家畜の伝染病（口蹄疫、PED、鳥インフルエン
ザ等）を伝播することがあります。

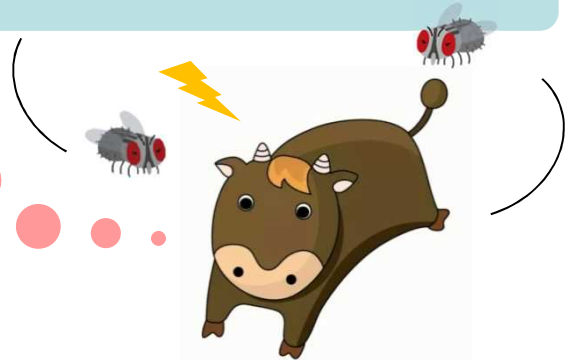
ストレスにより飼料の摂取量が低下し、食肉や牛乳、
卵の産卵率の低下など、家畜の生産性が低下します。

ストレス

苦情

近年では宅地化が進み、近隣住民からの苦情が増加傾
向にあります。

積極的に効率的な対策を
実施して、ハエの少ない農場に
しましょう！！



家畜伝染病発生情報メールサービスをご活用下さい！

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくはQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>



毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

毎月20日は飼養衛生管理基準の自己チェックおよび農場消毒を行う日
です。口蹄疫や鳥インフルエンザ、PED等の家畜伝染性疾病の侵入を防
ぎ発生を予防するためには、地域一帯の衛生水準を上げる事が重要です。

農場を守るため、**20日の飼養衛生管理の自己チェックと消毒を習慣化**
させましょう！

ハエの対策をしましょう！

幼虫対策

ウジの発生する場所に脱皮抑制剤（シロマジン剤、ジフルベンズロン剤、ピリプロキシフェン剤など）を水で希釈して1ヶ月毎に散布します。

堆肥処理

発酵熱と乾燥でウジを退治します。適切な水分調節と切り返しが重要です。良好な発酵処理により温度が40℃以上、水分50%以下の条件下でふ化率が激減します。卵がふ化しない1週間以内の間隔で切り返しを行うことが必要です。

成虫対策

発生対策とウジ対策をしたうえで成虫対策を行うことが効果的です。物理的な駆除（ハエ取りシート等）や殺虫剤を使用し、大量発生した場合は空中噴霧で数を減らし、毒餌法等を用いると効果的です。

毒餌法：ハエを引きつける砂糖や粉ミルク、お酒、糖蜜等に薬剤（有機リン系、カーバメイト系等）を混合して洗面器等に浅く入れておき成虫を退治します。

※脱皮抑制剤には抵抗性が出ませんが、そのほかの薬剤は使い続けるとハエに抵抗性がついて効き目が悪くなるので、異なる系統の薬剤をローテーションして使いましょう。

※薬剤の濃度を守って使いましょう

こまめな清掃、適切な堆肥処理、畜舎環境を清潔に保つことが、もっともお金のかからない防除対策です。日頃の作業に一手間かけてみましょう。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	台湾	4月13日	牛	A
	中国	5月1日	豚	A
	モンゴル	5月10日	牛	O
高病原性 鳥インフル エンザ	中国	4月10日、4月29日	野鳥	H5N6
	ベトナム	5月11日、5月17日	家きん	H5N1
		5月27日	家きん	H5N6
	インド	4月6日～4月12日	家きん	H5N1
	台湾	4月20日～4月25日	鶏・がちょう	H5N2
		5月1日～5月25日	鶏・がちょう・地鶏	H5N2
		4月21日～4月24日	鶏・がちょう	H5N8
5月4日～5月5日		鶏・がちょう	H5N8	
	5月16日	地鶏	H5N8	

6月10日現在